

平成25年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
上牧町	上牧町立上牧中学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

長い伝統を誇る本校は、地域に支えられ地域とともに発展してきた。昨今は校区内に新規の商業施設が建設され新しい店舗も数々と出現している。これに合わせて住宅地も造成され、地域の様子も変貌を遂げてきている。しかしながら、地域の学校に対する期待は従来から高く、中学校もまた「地域や社会に開かれた学校づくり」を学校の努力目標の1つに掲げている。

今年度は、地域との結びつきをより深めることを検討し、新たに「学校コミュニティ協議会」を発足させて学校と地域の新たな関係づくりをめざした。地域の方々との協働作業を通じて学校に新風を吹き込み、地域に学校を開くとともに地域の人々とのふれあいの中から心豊かな生徒の育成をめざそうと模索した。

2 取組の概要

学校コミュニティ協議会を立ち上げ、学校支援ボランティア、自治会長、民生児童委員、学校評議員、PTAの方々の参加をいただいて教師、生徒とともに活動をスタートさせた。初めて同協議会を発足させたところ、「学校に足を運び一緒に活動させてほしい。」「生徒の笑顔のために何かできることをしたい。」との声を多くいただいた。これらの意向を具現化するために「あいさつ運動・交通立哨」「清掃・ボランティア」「園芸・駅プレゼント」「図書・学習支援」の各部を立ち上げ活動を展開した。

あいさつ運動では毎朝の校門立哨にコミュニティ協議員の方に参加していただいて声かけをして登校の様子を見守っていただいた。学習支援では「放課後学習会」をもち学習支援を行っていただいた。図書館運営においては図書室の開館、本の貸し出しと返却業務、図書の整理を担ってもらった。園芸では草花を育て事業所などにプレゼントをする活動を始めた。生徒会主催の空き缶拾いなどのボランティア活動にも協議員に参加していただき一緒に汗を流した。

地域の方々が以前に増して学校に顔を出してくださり学校のために働いてくださることにより、生徒たちも地域の方々に支えられ温かい目で見守ってくださることを感じ、学校生活を頑張ろうとする意欲や行動面での積極性が向上した。

初年度ということもあり試行錯誤を重ねての歩みであったが、幸い少しずつ定着してきた。今後も各パートで知恵を絞り、教職員間で議論を積み上げさらに推進させていきたい。

活動を通して地域の方が今まで以上に学校に来てくださり、様々な協力を申し出てくださることで、生徒たちも自ずと地域の一員としての自覚が深まった。また、協力

することの大切さや、学校や地域に対する愛着、多くの人に支えられて自分たちの生活が成り立っていることを理解することができた。

学校ではコミュニティ協議員と教職員の議論や協働が深まり、今まで気づかなかった視点や生徒のためになる新しい活動も発見できた。学校と協議員・ボランティア・地域の人々PTAとの話し合いや連携で教職員自身も成長することができた。

活動の結果、生徒たちは地域とのつながりを意識したり、社会性を徐々に身に付けてきたりしているように思われる。しかしながら、まだまだ身に付けたことが定着しているとは言えず、その場限りの学習に終始してしまっているところも見受けられる。生徒たちが地域の人々との交流を通じて経験したことが単発的なものとなり継続性に問題を残したこと、生徒自らが地域に飛び込んでいく意欲や実行力に発展させる取り組みにはまだ至っていないことが課題として残った。また、今年度企画した活動を広げ、学校に根付かせることが次年度の当面の課題であると考えている。

